

医学部後援会

会長 藤巻 豊

医学部後援会では、今年度も多くの新会員をお迎えし、6月15日（土）にセンチュリータワー地下1階大会議室にて医学部後援会総会を開催いたしました。総会では、後援会『学術奨励賞』授賞式に続いて、生化学第二講座の長岡 功教授に『グルコサミンと健康』というテーマでご講演いただきました。後援会員は年齢を重ねていますので「膝関節の痛み」は身近で切実な話題で、皆さん聞き入っていました。

後援会では平成22（2010）年より順天堂大学医学部卒後10年前後の方を対象とした『学術奨励賞』を（最大3名）募集しており、今までに16名の方が受賞されました。選考委員会は長岡 功教授を中心に、後援会役員も参加し、インパクトファクターとサイテーションインデックスを参考に審査しています。

今年度はご応募頂いた7名の中から、放射線診断学講座の鎌形康司助教（H19年卒）、膠原病内科学講座の安倍能之助教（H18年卒）、神経学講座の安藤真矢助教（H18年卒）の3名が受賞されました。

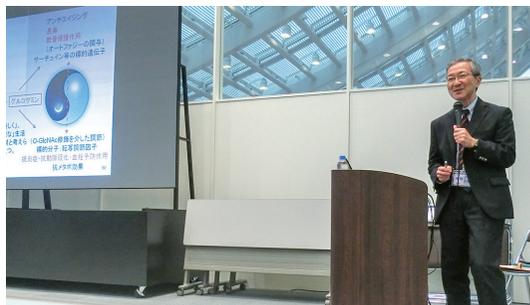
また、今年度より“受賞には至らないものの今後研究を発展させて再度『学術奨励賞』に応募して頂きたい応募者”を対象に『学術奨励賞準賞』を設けました。今年度は眼科学講座（東部地域病院眼科医長）の浅田洋輔先生（H20年卒）、腎臓内科学講座の武藤正浩助教（H20年卒）、皮膚科学講座の中原とも子助教（H11年卒）、小児外科学講座の須田一人助教（H22年卒）の4名が受賞されました。（受賞者の役職名は応募時のものです）

また、医学部後援会では今年度卒、卒後2年目、5年目、10年目、15年目、20年目の会員の皆様をホームカミング・レセプション（懇親会）へご招待しており、毎年多くの会員の皆様にご参加いただいております。皆様には「後援会活動への理解を深めるとともに、旧交を温めていただく機会」と捉えていただきと考えております。

医学部後援会では今年度も、保護者会や同窓会の会員の方々とも緊密に連絡を取りながら、後援会活動を充実したものにしていきます。会員の皆様にはお力添えいただきたくお願い申し上げます。



今年度の後援会学術奨励賞を受賞された先生方



長岡先生にご講演いただきました